

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野

各県教育委員会関係職員、市町村教育委員会または公民館関係職員、公立図書館、私立図書館職員、地域、職域の指導者（読書グループ代表者を含む）

#### 4 期日および会場

10月8日（月）～11日（木）

会場 福島県信夫郡飯坂町婦人会館

#### 5 研究議題

「読書を地域、職域の学習活動の促進のためにどのように役だてたらよいか」を中心議題として、新しい読書指導の進め方について、次の4分科会にわかれて研究協議し、その結果を全体会議に報告し、討議した。

| 分科会      | 内容  |
|----------|---|
| 1 都市     | 都市とくに工業、商業地域における読書活動をどのように指導すればよいか。         |
| 2 農村     | 農山漁村等における読書活動はどのように指導するのがよいか（公民館図書部の役割にふれる） |
| 3 家庭     | 家庭（個人）の読書指導はどのように進めたらよいか。                   |
| 4 読書グループ | 読書グループはどのように指導すればよいか。                       |

#### 6 講師および助言者

##### 1 講師

「素人の目にふれた欧米における最近の公共図書館」

福島大学学芸学部長 平井 博  
 文部省 社会教育官 二宮 徳馬  
 文部省 事務官 石塚 正成

##### 2 助言者

①横浜市立図書館長 中村 八郎  
 ②福島県立図書館次長 海野 昇雄  
 ③郡山市図書館司書 水 芳枝  
 ④埼玉県立図書館副館長 黒沢 信夫

##### 3 事例発表者

①東京都日比谷図書館主事 倉沢 政雄  
 ②福島市余目公民館主事 門間 孝一  
 ③会津若松市城西小学校 P  
 T A 読書会 高橋きみえ  
 ④岩手県立図書館司書 谷藤 高雄

### 3 文化事業の遂行

#### (1) 切手および郵便物資料展

期日 昭和37年6月10日～16日

会場 福島県立図書館

主催 福島郵便局 福島県立図書館 福島郵趣会

#### (2) 第8回地方史研究講習会

##### 1 趣旨

戦後、日本歴史の一分野である地方史研究は非常に盛んとなり、各地に地方史研究会が誕生し、新しい資料の発掘や市町村史（誌）の編纂等、はなばなしい活躍が展開されている。

しかしながら、ともすると地方史の研究に欠くことのできない、基礎的な作業である、古文書等の取り扱いが疎んぜられることも案外多いように見受けられる。地方史の研究は、古文書を中心とする資料の取り扱いが不可避の条件であり、これなくして良い研究は、絶対になし得ない。

このような見地から、例年、古文書の解説に重点をおきた研究者相互の情報交換、さらに地方史研究の動向等について知識をひろめていただくためにこの会を催している。特に今年は、待望の福島県史の編集が着手されたので、これについて、研究者としての意見を述べていただくために共同討議のテーマとして取り上げた。

##### 2 主催及び後援

主催 福島県立図書館 福島県公共図書館協会  
 後援 福島県史編纂会議

##### 3 期日及び会場

期日 昭和37年10月6日（土）午前10時から

昭和37年10月7日（日）午後4時30分まで

会場 福島市松木町1番地 福島県立図書館第3読書室（3階）

##### 4 講師及び講義題

講演 「平泉政権下の福島県地方」  
 東北大学助教授 文学博士 高橋 富雄  
 講義と演習

「近世資料の取扱い方」

福島大学助教授 農学博士 庄司吉之助

講義 「印章と花押」 福島大学助教授 小林清治

##### (3) 著者と読者の集い

松田ふみ子先生を囲んで ～著者と読者の集い～  
 とき 昭和38年2月8日（金）

講演 「婦人と読書」

座談会

ところ 福島市公民館二階ホール

参加者 読書グループの会員および一般成人 30名

畔柳二美先生を囲んで ～著者と読者の集い～

とき 昭和37年10月20日（土）

講演 壺井栄先生の作品を語る

座談会

ところ 郡山市公民館